

報道関係各位

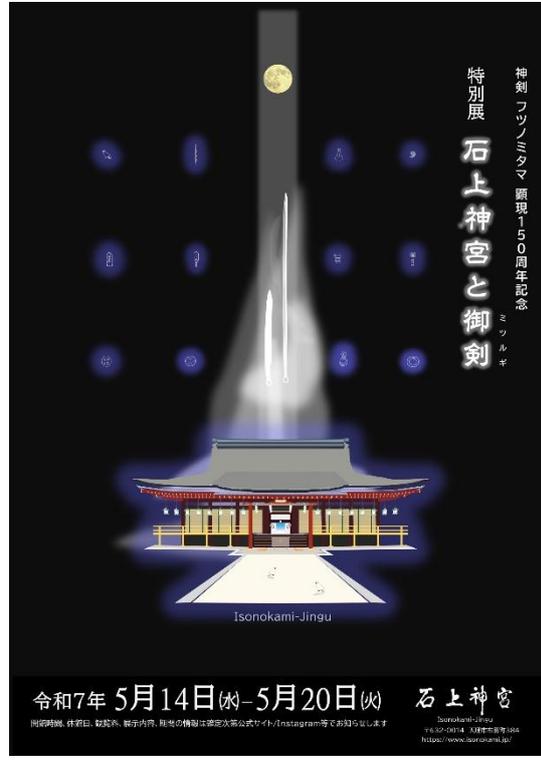
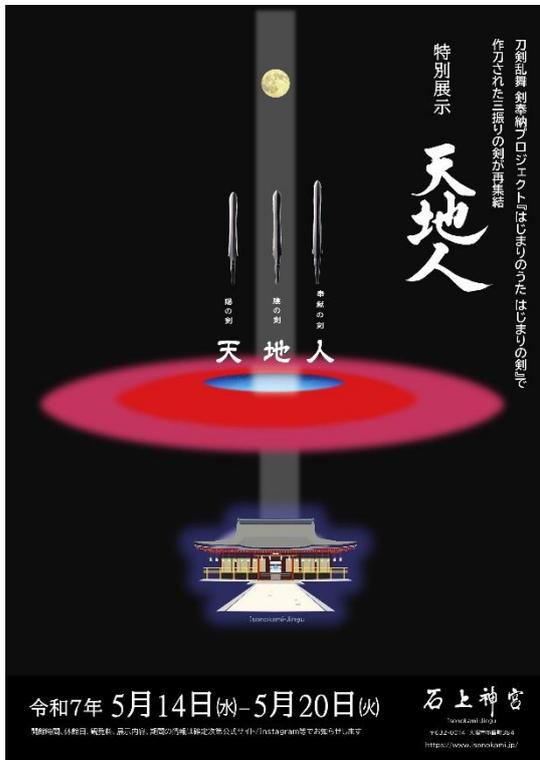
令和6年12月26日

神劍フツノミタマ顕現150周年記念  
いそのかみじんぐう みつるぎ  
特別展「石上神宮と御劍」



2025年5月14日(水)～5月20日(火)石上神宮・参集殿にて開催

奈良時代の日本書記に記されている石上神宮(所在地:奈良県天理市布留町/宮司:道上昌幸)では、神劍フツノミタマ顕現150周年を記念して、令和7年5月14日(水)から5月20日(火)までの1週間、特別展「石上神宮と御劍」を開催いたします。<https://www.isonokami.jp/>



当神宮は日本最古の神社の一つで、武門の棟梁たる物部氏の総氏神として古代信仰の中でも特に異彩を放ち、健康長寿・病氣平癒・除災招福・百事成就の守護神として長年信仰されてきました。

大和国を造られた神武天皇を窮地から救った神劍師霊フツノミタマ、素戔鳴尊が八岐大蛇を退治した天十握劍アメノツカノツルギの二振り、また日本武尊に降りかかった災いを薙ぎ払った草薙劍クサナギノツルギという神話に名高い劍の神をお祀りすると共に、唯一無二の意匠で有名な国宝七支刀を所蔵しています。日本三霊劍<sup>※</sup>の二振りを所蔵することから、古代より刀劍との縁はどこの神社よりも深いと言っても過言ではありません。※最終ページをご参照ください



今回展示する当神宮所蔵の七支刀を鑄造復元した「復元 七支刀」(河内國平作)や、長きにわたり歴史を刻んできた奈良県指定文化財「太刀 銘 義憲作」(号 小狐丸)は大変貴重な刀となります。

また、2021年に人気オンラインゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」による剣奉納プロジェクト『はじまりのうた はじまりの剣』で、刀匠 宮入法廣氏により作刀された三振りの剣のうち、当神宮に奉納された「奉献の剣 銘・人 天長地久」と、(株)ニトロプラス社が所蔵する「陽の剣 銘 天」、「陰の剣 銘 地」も展示いたします。奉納以来、三振り揃っての展示は初めてとなります。

この御祭神と歴史、信仰、刀剣との関係性を神剣フツノミタマ顕現150周年の好機に改めて発信することで、より多くの方々にご参拝いただき、日本の刀剣文化の奥深さに触れる機会を創り、併せて刀剣に興味関心が高い方々の参拝も叶えられればと思っております。詳細は追ってご案内いたします。



#### 【開催概要】

名称： 神剣フツノミタマ顕現150周年記念 特別展「石上神宮と御剣」<sup>ミツルギ</sup>  
日時： 令和7年5月14日(水)～5月20日(火) 7日間  
10:00～17:00 最終入場16:00

会場： 石上神宮 参集殿

〒632-0014 天理市布留町 384

近鉄天理駅および JR 天理駅より徒歩 30 分、タクシーで約 10 分

入場料： 未定

主催： 石上神宮

後援協力：(株)トーダン、(株)ニトロプラス、奈良国立博物館、吉野杉デザイン研究所

#### 【主な展示品等】

- 展示： ◇「復元 七支刀」(河内國平作／当神宮所蔵)
- ◇「太刀 銘 義憲作」(号 小狐丸)／奈良県指定文化財
- ◇「陽の劔 銘・天」(宮入法廣作／(株)ニトロプラス所蔵)
- ◇「陰の劔 銘・地」(宮入法廣作／(株)ニトロプラス所蔵)
- ◇「奉獻の劔 銘・人 天長地久」(宮入法廣作／当神宮所蔵)

#### 【神劔ツツノミタマ顕現150周年とは】

今からおおよそ2100年前、総称して石上大神(いそのかみのおおかみ)と仰がれる御祭神は、第10代崇神天皇7年に、現地、石上布留(ふる)の高庭(たかにわ)に祀られました。御祭神である布都御魂大神ツツノミタマノオオカミのご神体・神劔劔靈ツツノミタマが石上布留の高庭(現・禁足地)に遷され祀られたことから石上神宮は創祀されました。以来、永らく土中深くに鎮まっていた神劔劔靈ツツノミタマが明治7年8月、菅政友大宮司の主導で行われた禁足地の発掘調査により顕現。今年はその顕現より数えて150周年を迎えました。

#### 【日本三靈劔<sup>\*</sup>とは】

劔靈劔ツツノミタマノツルギ(布都御魂大神)・天十握劔アメノツカノツルギ(布都斯魂大神)・天叢雲劔アメノムラクモノツルギ＝草薙劔クサナギノツルギ(当神宮摂社・出雲建雄神)、この三振りには神代三劔または日本三靈劔とも言われている神代の靈劔です。

---

<本件に関する一般の方の問い合わせ先>

石上神宮 社務所 〒632-0014 天理市布留町 384 電話:0743-62-0900